

平成22年度第2回函館市戸井地域審議会議事録（要点）

1 日 時 平成22年10月21日（木）午後2時00分～午後3時05分

2 場 所 函館市戸井支所 第3会議室

3 出席者

尾関 忠義 委員	宇美健次郎 委員	濱島 史子 委員
宇美 兼松 委員	植野 範子 委員	佐々木竜矢 委員
佐藤 孝昌 委員	宇美千穂子 委員	尾本 美恵 委員
館山 澄子 委員	室谷 久恵 委員	古田 清一 委員
森 祐 委員	山路 榮 委員	

事務局

戸井支所長	伊藤 修
戸井支所地域振興課長	佐藤 博史
戸井支所地域振興課主査	西澤 嘉晃
戸井支所地域振興課主査	布施 司
戸井支所市民福祉課長	林 秋男
戸井支所産業建設課長	山下 勝
戸井教育事務所長	八木多佳夫
企画部計画推進室長	小野 浩
企画部計画推進室地域振興課主査	進藤 昭彦
企画部計画推進室地域振興課主任主事	小玉 亮

4 その他 報道機関：函館新聞社

5 議 事

事務局（佐藤課長） 皆さんこんにちは。本日はご多用のところご出席をいただき誠にありがとうございます。定刻になりましたので、ただ今から平成22年度第2回函館市戸井地域審議会を開催いたします。

会議開催にあたり尾関会長からご挨拶申し上げます。

尾関会長 皆さんこんにちは。本日は22年度第2回目の函館市戸井地域審議会ですが、1年で一番忙しい昆布漁も一段落はしましたけれども、まだまだ後始末で何かと忙しいと思いますが、ご出席いただきまして誠にありがとうございます。

本日の議題は、ご案内のとおり諸般の報告、23年度地域別事業計画（案）、地域振興全般に関する意見交換の中では、東部4地域のまちづくりの方向性と公共交通等の方向性について、皆様の活発なご意見をいただき進めてまいりたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

また、本庁からは、企画部小野計画推進室長を始め、職員の出席をいただいております。支所の各課長の出席もいただいておりますので、説明等をいただくこともあろうかと思っておりますので、どうかよろしくお願いいたします。以上簡単ではありますが、開会にあたってのご挨拶とさせていただきます。どうもありがとうございます。

事務局（佐藤課長） 続きまして、伊藤支所長からご挨拶をいただきます。

伊藤支所長 皆さんこんにちは。平成22年度第2回戸井地域審議会の開会にあたりまして一言ご挨拶を申し上げます。この時期、前浜での天然コンブの製品化作業の終盤を迎えて養殖コンブでは来年に向けた準備作業がすでに始まっているものというふうに思っております。

委員の皆様におかれましては、お忙しい中ご出席をいただきまして誠にありがとうございます。

また、日頃から地域振興はじめ市政運営各般にわたりまして、ご理解ご協力を賜っておりますことに心からお礼を申し上げます。

市町村合併によりまして、設置されておりますこの地域審議会ですが、本年11月をもって丸6年が経過し、委員の皆様には2年間の任期満了を迎えるわけでございます。この間、地域振興につきまして、真摯なご議論をいただきましたことに改めて感謝を申し上げます。

ここ数年、経済情勢は好転の兆しが見えない状況です。さらに今年は暑い日が多く、それが農産物の生育や前浜における漁業生産活動にも影響を与えているものと推察をしておおり、今後の回復を期待するところでございます。

本日の地域審議会は、平成23年度の地域別事業計画（案）などについて、ご審議いただくこととなりますので、地域の振興発展を図る上での貴重なご意見やご提言を賜りますようお願いを申し上げ、開会にあたってのご挨拶とさせていただきます。よろしくお願いいたします。

事務局（佐藤課長） ここで本庁企画部の計画推進室長が、実は4月1日で人事異動がありまして、第1回目の会議で本来出席すべきなんですが、出張等、丁度重なりまして本日出席いただいておりますので、私の方からご紹介させていただきます。

企画部計画推進室長小野浩でございます。

企画部（小野計画推進室長） 小野でございます。よろしくお願いいたします。

事務局（佐藤課長） よろしくお願ひします。

それでは、これより会議に入りますが、進行につきましては、地域審議会の設置に関する規程第8条第2項の定めにより、会長が議長を務めることになってございますので、以後、尾関会長が議長で進めてまいりますので、よろしくお願いいたします。

会長、よろしくお願いいたします。

尾関会長 それでは、会議を始めます。

本日は、松田委員が所用のため欠席をしておりますので、出席委員は、14名であります。

地域審議会の設置に関する規程第8条第3項の過半数以上の出席要件を満たしておりますので、直ちに会議を始めます。

尾関会長 お配りの会議次第に沿い進めてまいりたいと考えております。よろしくお願いいたします。

早速、議事に入ります。

まず始めに議題の1「前回の意見等の集約結果と取り組み状況について」説明を求めます。

事務局（布施主査） [別紙資料1により説明]

尾関会長 説明が終わりました。これより質疑、ご意見を伺いたしたいと思います。

何かございませんか。

尾関会長 青少年会館の質問については、館山委員でしたね。

館山委員 はい。この回答によりますと、これからまた色々相談することがありますので、皆さんと話し合っていきたいと思ひます。

尾関会長 他にございませんか。

（「なし」の声あり）

尾関会長 それでは他にご意見がないようですので、（2）の平成23年度地域別事業計画（案）について、説明を求めます。

事務局（布施主査） [別紙資料2により説明]

尾関会長 説明が終わりました。まだ、予定の範囲内での案でございます。

どなたかあれこれ質疑、ご意見ございましたら受けたいと思ひます。

森 委員 1ページの関係で、アワビ・ウニの種苗、また深淺移植放流事業、ずっと続けていただいて今日までできてますけども、市も財政的にも厳しいということからウニの深淺移植放流事業の助成については、今後徐々に補助金を減らしてゼロにしたいと、いうお話を聞かされているわけです。来年度については今まで付いていた補助金の何%か減になった形で助成いただけるんだろうと思ひてますけども、これらについては今後、一昨年あたりから徐々に減らすというお話が出てたんですけども、その辺については、その考え方には変わりがないものなのかどうか、その辺。それともう1点、3ページ、小規模の治山事業で、これ道の絡みもあるんで、道の財政が大変厳しい中で、釜谷地区の治山については、18年から24・5年頃までに福田さんの辺りまで完了する予定で説明

があったんですね、地主については保安事業ということで無償で提供いただくということから、ただ事業を始めた当初は結構なメーター数で延びてきたんだけど、昨年あたりから急激にわずか10メーターか15メーター位で止まってしまう。その辺は、財政の絡みなんだろうと思っているんですけども、果たして当初の計画どおりで完了できるものなのかどうか、その辺、2点。

山下課長 森委員のご質問にお答えしたいと思います。まず1点目のウニの深淺移植につきましても、森委員の言われるとおり毎年5%ずつ補助率を減らしていくという計画を聞いております。ですから23年度の予算についても漁組の方に予算要求策定段階です、その説明とそれがどの位の金額になるかということは、担当の水産課の方から話はあるかと思えます。

それから2点目の小規模治山でありますけども、森委員の言われた福田さんのところにつきましても、急傾斜地崩壊対策といたしまして、函館建設管理部の方で扱ってる事業であります。

それで今回載せてる小規模治山はですね、22年度から始めます釜谷白い浜の合浜さんのところと来年度、瀬田来の去年の8月の雨で立っていた杉が倒れて応急措置したその2か所の事業計画であります。

森委員言われます急傾斜地につきましても、確かに国の方の政権も代わってですね、公共事業費が半分位に減らされている影響が戸井地区においても現れておりまして、計画が延びるかどうかは聞いておりませんが、去年あたりから1年当たりの事業費が少なくなってきた実態でありますので、これから計画どおり終わるかどうか含めて函館建設管理部の方に確かめたいと思えます。

森 委員 もう1点、申し訳ないですけども。この後説明があるんだろうと思えますけども、22年から27年までの過疎計画が新たに策定された訳ですよ、策定するにあたっては早い段階からある程度、様々な建設計画なり過去の部分から拾いながら今後進めていく事業として盛り込んだものだというふうに考えております。具体的にまだ全部読み上げてしまった訳でないんですけども、たまたま昨年ですか、雨で原木の金下というんですか、あそこが落盤がちょっとあった、ということで将来的に道としては危険防止の大掛かりな工事をするか、それとも通行止めにしてしまうか、というようなニュアンスのお話があって今年度ですか、春の段階で一時的に応急処置をとということで土留め工事をしてると、いう状況ですね、こういう計画がある中にその部分が将来的に計画に盛り込んでね、これからちょっとした雨でもおそらくまた落盤するのはあるんだろうと思えます、あそこ大変な危険な地域、旧戸井町時代から最も危険な箇所といわれてた地域なんで、そうした場合にこういう計画もなく盛り込んでない緊急的な処置の中で道にお願いしてすぐ工事が発注してもらえるものかどうか、その辺が非常に不安がある訳ですよ。だからできることならこの計画、でき上がってしまったものに更に付け加えることはなかなか難しいであろうけども、それが入っているのかどうか、この過疎計画の中に、その辺。

山下課長 森委員のご質問にお答えします。下原木のあの地区につきましても、まず藤田地先というところが前々から計画にありまして、今、山根地先というところが平成23年度で終わるんですけども、それが終わってから藤田地先という計画がありました、ト

ンネルの手前ですね。それで今回落石があったところも含めて藤田地先と一緒に工事をするのか、分けてやった方がいいのか、ということで渡島総合振興局の方で検討をして、まだ結論が出ておりません。それで過疎計画との関連でありますけども、公共の事業なものですから市の負担がありません。ですから市で過疎債を使うことがないことから、計画に載ってこないということです。それで下原木の事業についても山根地先が終わった24年度からどういう形でやるか、これから検討に入るといふふうに思います。

森 委員 今の説明では、どっかの工事が終わってから落盤箇所と合わせた工事をどのように進めるか、これから渡島総合振興局が協議して決定して工事に入っていくんだらうと思うけども、具体的に支所としてまた市として、支所としては当然本庁に対して、あそこ斜路もあるし船の出入りがある訳だから、そういう部分では毎日のように海が凪ると人が歩く訳ですよ、そういう部分で今、大変危険を防止する上でも早急に何とか地先と合わした、どのような工事方法になるのか別にして、とにかく急いでやってもらわなきゃならないんだ、ということは強く支所として本庁に要請するなり、支所から直接、振興局へ話が通るものなのかどうか、その辺は十分内部で協議して前向きに早い時期に工事に入っていただけるような対策を取っていただきたいということで終わります。

尾関会長 緊急性があるそうですから、その辺よろしく願いいたします。

他にございせんか。

(「なし」の声あり)

尾関会長 他に意見がないようですので、23年度事業計画(案)については、審議終了といたします。

尾関会長 次に3の地域振興全般に関する意見交換を議題といたします。「東部4地域のまちづくりの方向性(案)」および「東部4地域の公共交通等の方向性(案)」について、説明を求めます。

事務局(佐藤課長) お手元に配付してある資料3「東部4地域のまちづくりの方向性(案)」それと「東部4地域の公共交通等の方向性(案)」について、この2件の資料作成については、昨年合併から5年経過する中で4地域においては、過疎化・高齢化が急速に進み、地域全体が活力を失い、さびれてしまうことが懸念されるほか、住民からは将来、自分が住んでいるこの地域がどうなっていくのかなど不安の声も出されていることから地域振興を図るうえでどのような課題や問題点があるのか、地域住民の生の声を聞くために地域内の色んな階層の方にお集まりいただきまして住民との意見交換会を2回ほど実施いたしました。また地域審議会、この場での意見交換等も開催、また町会長会議での意見交換会も開催したところであります。これらを踏まえて、この度東部4地域のまちづくりに取り組んでいく方向性について、「東部4地域のまちづくりの方向性(案)」として取りまとめるとともに、人口減少や高齢化などの状況を見据え、将来にわたって持続可能な公共交通等を確保していくために、東部4地域の公共交通等について、基本的な考え方をまとめたところがございます。

それでまちづくりの方向性(案)ですが、地域の現状や課題、住民の思いやまちづくりに対しての考えや意見など地域の声を踏まえ、まちづくりに取り組んでいく方向性についての一定の考え方を取りまとめたものでございます。

また、支所機能のあり方についての記載もありますが、住民意見を踏まえて今後の支所機能のあり方など、地区長制度も含めて将来の検討課題とすることが望ましいということで記載しております。

次に公共交通の方向性でございますけども、現在函館バス、民間が運行している路線バス、それと支所が運行している地域福祉バス、それと戸井と恵山地域が所有しているスクールバス、恵山地域が運行している病院送迎バスなどがありますが、それらのバスについては様々な問題が生じているところでございます。

また、合併協議で当分の間、現行のとおりとされ旧函館市内の区域のみ行われている交通料金助成制度の取り扱いなどの課題も含め、それらの解決に向けて東部4地域の公共交通等の方向性について取りまとめたものでございます。

いずれもこれらの資料については、現状を踏まえて将来さらに進む過疎化、高齢化の中で地域にとって何がふさわしいのか、検討する資料として作成したものでございます。

本日皆様方に配付しましたので、後でご覧いただきご意見があれば支所にお寄せいただきたいと思っております。よろしく申し上げます。以上で報告を終わります。

尾関会長 説明が終わりました。質疑、ご意見を賜りたいと思います。

尾関会長 ちなみに、つい数日前のマスコミの新聞の報告だったと思いますけれども、函館地区で水産業の水揚げがイカが一番だったんですけれども、コンブの水揚げが一番になってイカが二番になって、旧函館市も含めたコンブの水揚げ額が約75億円位になってたと。市の水産水揚げのトップはコンブで地元の我々にとって何かこそばゆい感じですけども結構な金額なんだなっていう・・・聴取不能・・・な感がいたします。

尾関会長 今ご説明が終わりましたが、何かご意見ございませんか。

館山委員 交通のところちょっとでたんですけども、前から旧市の方でお年寄りには半額ありましたよね。合併になったらどうですかって聞いた時は、旧4町村はなりませんって言いました。だけどそのお金もやっぱり函館バスの方にその分としていくらか助成を出しているのかどうか。それだったら税金だとかそんなのがみんな一緒に払っているのであれば、何かの形でこっちにもそういうのがないのかなって、今ふとって。

事務局（佐藤課長） ただ今の館山委員の質問は、交通利用料金助成の話だと思うんですけども、バス会社に助成しているかどうかという話、函館からこの沿線、下海岸あるいは南茅部ルート、これ国・道の補助が入りまして生活路線バスということで助成しております、それとはまた別にこの交通料金助成についても実績に基づいて市から函館バスに助成を出しております。それで合併建設協議の際には制度が違う、旧4町村にはそういう制度がなかった、市の方には交通料金助成ありということで制度の違いについては協議して、即合併と同時に統一できるものは統一すると、協議が整わないでできないものについては、当分の間その制度をそれぞれ適用していくということで、今6年経過しようとしてますけども、未だその交通料金助成についても鋭意検討中ということで、この公共交通の資料16ページに交通料金助成のあり方検討ということで、要するに今こちらの東部4地域では、福祉バスも持ってます。旧市内では福祉バスというそういうものがない、また、そういうスクールバス、路線バスすべて総体的に今後、バスのあり方といいますか、路線バスについても皆さん新聞見てご存知のように釜谷発のバスセンター行き、これ1便減便になっております。それで今後益々路線バスを利用しないと

民間ですから当然撤退していくという可能性があります。それらも含めて全体で今後この公共交通をどうしようかと。そういう検討に入っていくということでご理解いただきたいと思います。

館山委員 それといつも思うんですけども、大きいバスが誰も乗らないで走っている、それがちょっと小さいバスでもいいんじゃないかと思う時ありますよね、皆さんもそう思いませんか。20人乗りとかのバスも結構あるんですよ、だからその時間帯、朝子ども達が学校へ行く時とか、勤める人方が多い時は大きいバスでもいいんですけども殆どこっちは乗らないで、誰も乗らないで空で走ってるバスが見受けられるので、もしできたら小さくてもいいんでないかなと思うところがありますけども。一度話ししてみてください。

尾関会長 実は私もそれ疑問に思いますけれども、年に何回かバスを利用することがある。・・聴取不能・・ほど混み始めますね。時間帯もあるだろうけど。大体3時か4時頃こっちから行く時間帯の人は遅い時間帯だろうな思って・・聴取不能・・。

植野委員 たまに女の人が運転してくる時には小型のバス走ってますよね。1日に1回ということはないけど、恵山岬のあれ付けて女の人乗ってるバスは小さいですよ。1日1回ぐらいありますね。

森 委員 会長、こういう話は、民間会社がどのような運行しようと、それは別の問題であるから審議会としてこういう話にはならない。

尾関会長 他にございますか。

尾関会長 もしなければ、フリートークで地域振興に関して普段感じておられるお話を伺いたいと思います。

森 委員 今日の会議の前段で、前回の会議たまたま欠席だったものですから、青少年会館の改修の話、支所としては当然そういう声も聞きながら来年度の計画に盛り込んで予算を付けていただくということで説明がされていた中で、合併当初、地域の合併建設計画の中に旧戸井町としては、東部地区の総合センターもすごく老朽化してきている中で、西部地区にもそのような大きな集会場というんですか、会議場なり、たまたま地域からいって葬儀なんか殆どそういったセンターを使って行っているという、地域性も生かしながらある程度、西部地区というと汐首から小安地域さらには合併した町村として地域として隣の石崎、その辺まで利用できるような大きな福祉施設というんですか、そういうものを建設していただくということで合併計画に盛り込んだ訳ですよ。たまたま自分が議員していた当初、当時の市民部長から4地域の中で1番最初に戸井地域を進めると、いうお話があつて大変喜ばしいなという考えを持っていたんですけども、ある議員さんから施設の建設についてはだめだと、いう声があったということで今回流れてずうっと今日まできている訳ですよ。

今回ここへきて青少年会館の改修をするということになると、当然そういった施設は、また遠い将来になってしまうのかなと、いうことになってしまう。ですから当然合併計画の中で盛り込まれた施設の計画についてはまだ生きてる訳だから、地域としてはやっぱり将来を見据えた中で様々な複合施設として早い時期に建設をしていただきたいという声を上げておくべきだと自分は思うんですけども。この地域審議会の中で議論があったということで終わるものなのか、それを踏まえて支所として本庁に対してきちっと意見

を申し上げて、早い時期に予算計上して建設をしていただける手順を踏んでいくのか、その辺の考え方についてどなたか。

伊藤支所長 森委員からお話がありました合併建設計画策定時においては、地域にある小さな集会施設がありますけれども、それら老朽化した場合に建て替えは行わないで、学校の統廃合ということで生じてくる土地を利用して中規模のコミュニティ施設を整備し、施設を集約化していきたいということで住民の皆さんとお話しし、現実そういう計画になっております。また、老朽化しております社会教育施設の公民館、郷土館、埋蔵文化財展示館についても統廃合した後の学校の改修を行い、そこに集約し整備していく考えでございました。しかし、ご存知のように学校の統廃合が進まない状況の中では建設のための土地の確保、それから社会教育施設の統廃合を行うための空き教室がないことが課題となっている現状です。一方、地域会館のあり方については、合併後の議論では1町会1施設を基本として整備統合を図りながら利用状況、老朽化等を勘案のうえ協議を進める予定になっております。こういう状況が合併時、合併前の議論ということで状況がある程度変わってきております。その中でコミュニティ施設の整備、それから社会教育施設の整備という課題があります。それと更には地域会館のあり方もございますので、これについては今、森委員おっしゃるように前回の地域審議会の中でも過疎計画の中でも説明しておりますし、建設計画として載っておりますけれども、変更するのであれば更に協議をしていかなければならないし、町会長さん方も含めた中で地域の声を聞きながら今後どうするか判断をしてまいりたいと考えております。

森 委員 先ほどの将来に向けた地域のまちづくりの素案を作る段階で、そういったニュアンスのお話はあったのかどうか、まったくなしで、ゼロで。

事務局（佐藤課長） ただ今、コミセンの建設の話を地域住民の意見交換会の時にしたかということですが、具体的にはしておりません。ただ、今後この地域のあり方というか、水産業振興、地域振興を含めて住民の幅広い意見を聞いたということで、住民の方からもコミセンについては話はございませんでした。

森 委員 そうすると今、支所長言われる方向を示された訳ですが、今後地域住民ともご相談を申し上げながら、意見を聞きながらということであれば、合併計画の変更をするならば、前提の下で意見を聞いてみたいというニュアンスの話だろうと思って受け止めたんですけども、そうすると未だに一端下りかかったものが消えてしまっていて、ただ計画に盛り込まれてるだけで前に進んでない状況が現実なんですね。ですからやっぱり自分としては、せつかく計画を組んできた訳だし、当時の市民部長は新たな用地を買収してでもその建設を、4地域トップ切って合併特例債を使いながらやってやるというふうに明言してくれた部分がね、たまたま退職されたとは言えども、そのことってのは生きているんだと思うんですよね。ですから支所としてもやはり合併建設計画を作る段階で住民の声を聞いて計画を組んでいる訳だから、適宜その辺は市民部に要請して早い時期に何とかしてほしいという声を上げるべきでないのかなという気がするんですけど、そういう考えにならないか。

伊藤支所長 今お話ありましたようにこのコミュニティ施設の建設については、戸井地域、恵山地域、南茅部地域と。榎法華地域については既設のセンターの改修ということで計画して市民部が中心になってそのあり方について協議してきたと。今、森委員おっ

しゃるように優先度を協議しながら決めてきた、というのが事実であります。ただその中で戸井の場合は新たに建設するというので、他の地域については古い建物を改修する計画であった。戸井の場合は土地が確保できないことから新たな土地を購入するという計画も協議の中でありましたが、財政的な部分やその施設を建設することによって身近にある地域会館を廃止する方向で協議を進めてきた訳ですけれども、合併後5年が経って地域の状況も変わってきてますので、果たしてそれでいいんだろうか、ということで先ほど言いましたように住民の声を聞いていきたい。ただ過疎計画についても建設計画についてもそのままの形では載せておりますけれども、コミュニティセンターの建設、社会教育施設の整備の部分、地域会館と関連がありますので、予算的な部分も考えた中で地域の利用実態等も把握しながら進めていきたいと思っております。

尾関会長 支所長，単純に優先度が遅くなっただけで，計画から廃止するというのでは無いの。

支所長 もちろん過疎計画にもありますし建設計画にも載ってます。地域の皆さんと協議して、先ほど言いましたようにその中でコミュニティ施設が必要だということで計画に載せてますが、計画策定時と状況が変わってきており、今後そういう方向でいくのか、計画を変更する方がいいのか、という議論にもなろうかと思っておりますので、その辺のお話を聞きながら決めてまいりたいと思っております。

事務局（佐藤課長） 今のコミセンの話、計画担当課としては、実は今の地域会館、高齢化する中で合併建設計画にあるように集約して中規模の建てた際に、どこに建てるかわかりませんが、例えば小安の高齢者が会合を持つためにその施設まで行きますかと、今地域会館でも利用実態が殆ど少ない、1人当たりの経費にすると何万円もかかっている施設もあります。そういうことも含めて将来計画を練らないと、コミセンというのは単純に葬儀を行う場でなく、色んな子どもの教育も含めれば青少年会館もあります。実態としては青少年会館の使われ方を見ると小中学生が土曜、日曜日に集まってくるようですし、やはりコミセンとなると貸館業務だけになってしまう。そういうことでなく有効に施設を活用していくということになると今の社会教育施設の古いものを集約した形で青少年会館を整備した方がこの地域にとってよろしいんでないかと、ただコミセンは絶対必要ですよと、こういうことに使ってこうでありますから、こうですよという目的が整備された中であれば、私どもも本庁へ早期建設を積極的に努力してまいりたいと思っておりますが、今の地域会館の実態を見ると新規で建てるのがはたしてどうなのかなという思いがあります。これ計画担当課としての意見であります。よろしくお願ひします。

尾関会長 そういうことだそうでございます。他にございませぬか。

（「なし」の声あり）

尾関会長 ご意見がないようですので、次に移りたいと思ひます。

尾関会長 事務局からお願いいたします。

事務局（佐藤課長） 皆様のお手元に配付してある資料の確認をしたいと思ひます。

まず始めに参考資料として21年度の政策事業一覧、A4版の横型ですけれども21年度の決算額で事業が終了した分を載せてあります。内容については予算時に説明してありますので、情報提供として配付しておりますので後でご覧いただきたいと思ひます。

それから先ほど話も出てましたけれども函館市過疎自立促進市町村計画，これ前回の会議の時に素案ということで皆さんにお配りしてあります。委員の皆さんからもご意見いただきまして，9月の定例会に提案されまして議決をいただいたところです。それでこれが正式に計画書として印刷したものを皆様のお手元に配付しております。それと参考資料，横型の金額，総体事業費が入ったものを併せて配付してあります。それと函館市の市政要覧を配付してあります。それと前回第1回の地域審議会の会議録を配付してあります。以上が参考資料の配付でございます。よろしくお願ひします。

尾関会長 何かございますか。

（「なし」の声あり）

尾関会長 皆様からいただいたご意見等については取りまとめの上，後日報告したいと思ひます。

尾関会長 以上で本日の日程はすべて終了いたしました。

本日の会議は，現在の委員としての最後の地域審議会でございます。現在，所属する団体等を通じまして新しい地域審議会委員の推薦依頼がされておりますので，引き続き皆様方にお願ひすることになろうかと思ひますが，ご協力の程よろしくお願ひいたしたいと思ひます。

これを持ちまして本日の会議を終了します。2年間ありがとうございました。